



より安全にお使いいただくために

日々、皆さまに行っていたきたい「安全チェックのポイント」!

- LPガス容器からガスメータの出口までは「供給設備」と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
- ガスメータの出口からガス器具までは「消費設備」と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は、ふだんLPガスを使っている皆さまで行ってください。

雪害対策のお願い

- 雪で調整器やガスメータなどがこわれる恐れがあります。雪囲いや容器小屋の点検をお願いします。
- 雪おろしの時は、LPガス設備に損傷を与えないよう注意してください。

- 火気との距離は2m以上に!



点検の確認 点検の繰り返し・再点火 立ち消え

- 点火を確認しない事故が発生しています。必ず目で確認を!
- 点火操作を繰り返して、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時はご注意ください!

※乾電池は切れていませんか?
※器具が点火しにくい場合は、すぐに販売店に点検を依頼してください。



お風呂の確認

- ふろがまの空だきに注意!



フィン(排気部)の確認

- フィンの目づまりのチェックは!



ゴムホース(ゴム管)は

- 焼けこげやヒビ割れができていないか!
- ガス栓の赤い線まで差し込まれているか!
- ホースバンドでしっかり止まっているか!



使っていないガス栓は

- つまみは「閉」になっているか!
- ガス栓のゴムキャップがついているか!



換気の確認

- ガスを使う場合は換気を習慣に!



ガス漏れ警報器は

- 掃除機などの使用後は、必ず電源が元通になっているか!
- コンセントが抜けていないか!



一酸化炭素(CO)中毒について!

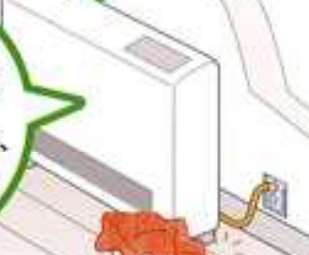
燃焼機器は空気(酸素)が不足したまま使用していると不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生します。一酸化炭素は毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などがし、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。

屋外から給排気する燃焼機器は

- 排気筒がはずれていないか!
- 排気口がふさがっていないか!
- 排気筒の先端が屋外に出ているか!



- ストーブ、ガスファンヒータをご使用の皆さまへ
- 1時間に1~2回、窓を開けて換気してください。



●室内に煙突(排気筒)が付いている湯沸器や風呂釜、安全装置の付いていないガス器具をお使いの皆さまは、販売店へご相談ください。

ガスが突然止まったら

LPガスの流れや圧力などに異常があると、ガスメータ(マイコンメータ)が自動的にガスをシャ断し、原因が表示されます。



復帰の方法

- ガス利用の再開は、次のような手順で行ってください。
- 異常がなければ、マイコンメータを復帰することができます。
- 復帰しない場合は、復帰を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。



※「赤ランプ」は、液晶のものもあります。

地震・火災・洪水が起きたら

- 器具栓、ガス栓、ガスメータバルブ及び容器バルブを開めてください。



- 災害後にLPガスを使用する時は、販売店に連絡し点検を受けてから使用してください。

災害後は販売店が順次点検を行います。連絡が取れない場合でも点検を受けるまで使用しないでください。

こんなときはすぐに連絡を!

- LPガス販売店か器具メーカーに、すぐ点検を依頼してください。
- 点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。

炎	炎が安定しない	炎が黄色い	炎が赤い
操作	使用中に消火した	爆発的に着火する	火移りにくい
	点火しにくい	点火しない	
器具	異常音をたてて燃える	ガスの臭いがする	
	運転中に排気ガスの臭いがする		